

2018年8月27日

全国初！標準化活用支援パートナー機関として当行支援による JIS 規格が制定 (株式会社朝日ラバーの新市場創造型標準化制度を活用した JIS 規格)

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、地元企業の競争力強化に向けた取組みを推進しており、経済産業省「新市場創造型標準化制度(※1)」の標準化活用支援パートナー機関として、地元企業が開発した優れた製品や技術を JIS 規格等の標準化取得により、信頼性向上や販路拡大へ結び付ける支援を行っています。

この度、当行を「標準化活用支援パートナー機関(※2)」とする株式会社朝日ラバー（代表取締役社長 渡邊 陽一郎）が提案した「照明器具用白色シリコンインキ塗装」の JIS 規格が制定されましたので、お知らせいたします。

なお、「標準化活用支援パートナー機関」の支援による JIS 規格の制定は全国で初めてとなります。

株式会社朝日ラバーは、2016年10月に「新市場創造型標準化制度」の活用が決定し、以後 JIS 規格制定に向けてプロジェクトリーダーとして取り組んでまいりました。今般制定された規格は、照明器具用白色シリコンインキの品質および評価する方法について定めたもので、これにより LED 照明の高輝度化や省エネ、長寿命化への貢献が期待されます。

今後も、地域金融機関として企業の皆さまのさまざまなニーズにお応えしながら、企業の成長支援を継続してまいります。

【今回制定された JIS 規格】

- <規格名> 「照明器具用白色シリコンインキ塗膜」
 <規格番号> JIS Z 8922:2018
 <概要> LED 照明器具に用いる部材の白色シリコンインキについて基本的な品質（外観、反射率、白色度、密着性）、塗膜の耐久性、燃焼時に安全性等の試験方法、検査方法を JIS 規格として標準化
 <本規格については以下リンク先よりご確認できます。>
<http://www.meti.go.jp/press/2018/08/20180820002/20180820002-1.pdf>



白色シリコンインキ製品

(※1) 新市場創造型標準化制度

- ・中堅、中小企業等が開発した優れた技術や製品の性能・品質を客観的に示すことができる評価方法等を JIS 規格等の標準化を新たに作成するために経済産業省が創設した制度。
- ・標準化により、技術、製品の市場での信頼性の向上と共に市場での速やかな普及が期待できる。

(※2) 標準化活用支援パートナー機関

- ・経済産業省、(一財)日本規格協会と連携し、地域の中堅・中小企業等の標準化の戦略的な活用を支援する自治体、産業支援機関、金融機関、大学、公的研究機関。武蔵野銀行では2015年10月より標準化活用支援パートナー機関となっております。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
 地域サポート部地域価値創造室 藤井
 TEL (048) 641-6111 (代) 内線2705